

10月
定期講座

天文楽へのいざない

星空を見つめよう

天文学というと、物理学や数学の難しい世界の学問と思われがちですが、決してそんなことはありません。天文学の基本は楽しく星空を眺めること。

そこで、星空や宇宙の神秘を、生活に密着したもっと身近な角度から、「天文楽」としてとらえてみたいと思います。



平成29年10月～平成30年3月 カリキュラム



★10月 月のミステリー ～ 月を科学する

10月4日は仲秋の名月。月は、私たちにとって最も身近な天体であるにもかかわらずなぞに秘めた天体。月の成因、月の軌道、月の満ち欠け、月が起こす日食月食など、月を科学的に眺める。

★11月 ふたご座流星群を見よう ～ 彗星と流星の謎

太陽系惑星のうち、水星から土星までは、5000年前から知られていた。しかし天王星、海王星、冥王星は、18世紀以降に天文学者によって新たに発見された惑星(冥王星は準惑星)だ。どのような経緯で発見されたのだろう。そのエピソードに迫る。

★12月 クリスマスの星・長生きの星

イエスキリストの誕生を知らしめるために輝いたとされる「ベツレヘムの星」や、大晦日の除夜の鐘が響くころ南の地平線すれすれに見える長生きの星など、クリスマスから年末年始にかけて楽しめる星の話題を紹介。

★1月 今年の宇宙は何が起こる?! ～ 2018年注目の天文ショー

2016年は、8月の部分日食がおこったぐらいで、これといった天文現象がない寂しい年だった。2018年1月31日の皆既月食をはじめ、注目の天文所がありそう。そこで2018年に起こる天文ショーを紹介。

★2月 冬の星座探訪 ～ オリオンからたどる冬の星座

凍てつく冬の夜空には明るい星がいっぱい。とくにオリオン座は1等星を2つも持つもっとも有名な星座。オリオン座から冬の星座を探し、星々の中に隠された秘密や、ギリシャ神話のロマンに浸る。

★3月 宇宙の謎 ～ 膨張する宇宙

アメリカの天文学者エドウィン・ハッブルは、宇宙に点在する銀河までの距離を測定。銀河は遠ざかっていることを発見し、1929年膨張宇宙論を提唱した。天体までの距離はどのようにして測るのか、宇宙はどのようにして生まれたのか?宇宙の謎に迫る。



【受講日】 第2火曜日18:30～20:00

【講師】 日本天文学会所属天文研究家 浅田英夫

【受講料】 6ヵ月分 12,000円+税

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。



一宮 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-138-253

10:00～19:00 土曜日は18:30、日曜日は16:00まで
〒491-8585 一宮市新生1-1-1名鉄百貨店一宮店6階・プラザ138